

整理 No.	22	分類	コンクリートがれき						
会社名	竹本油脂株式会社								
担当者	三浦 義雅								
連絡先	TEL	03-3271-4402	FAX 03-3274-0830						
	E-mail	y-miura2@tkc.takemoto.co.jp							
技術の名称	コンクリート用化学混和剤（収縮低減タイプ）、乾燥収縮低減剤								
概要 (150字程度)	収縮低減タイプの各種混和剤あるいは収縮低減剤を使用することにより、コンクリートがれき再生骨材を用いたコンクリートの乾燥収縮ひび割れを抑制し、耐久性の向上が期待できる。								
技術登録等	NETIS（登録番号：CB-080022-V）※収縮低減剤は除く								
技術の概要	<p>コンクリートがれき再生骨材を用いたコンクリートにおいて、乾燥収縮ひび割れを抑制する要求事項が生じた場合、AE減水剤（高機能・収縮低減タイプ）チューポールLS-A/LS-AR、高性能AE減水剤（収縮低減タイプ）チューポールSR/SR-R、あるいは乾燥収縮低減剤ヒビダンBから最適な混和剤を選定、使用することで乾燥収縮ひび割れの低減などが期待できる。</p> <p>【高性能AE減水剤（収縮低減タイプ）チューポールSRの試験結果例】</p> <p>■ コンクリート試験結果(例)</p> <table border="0"> <tr> <td>使用材料</td> <td>セメント：普通ポルトランドセメント 細骨材：陸砂 粗骨材：碎石2005A</td> <td>密度=3.16g/cm³ 表乾密度=2.58g/cm³ 表乾密度=2.68g/cm³</td> <td>試験条件</td> <td>水セメント比：50% 細骨材率：47% 単位水量：165kg/m³ 使用量：C×1.20%（チューポールSR） : C×0.80%（市販高性能AE減水剤）</td> <td>目標スランプ=18cm 目標空気量=4.5% コンクリート温度=20℃</td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>圧縮強度</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>長さ変化</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>凍結融解に対する抵抗性</p> </div> </div> <p>次頁 あり・なし</p> <p>製品に関するご質問やカタログ等のご請求を受付けています。</p>			使用材料	セメント：普通ポルトランドセメント 細骨材：陸砂 粗骨材：碎石2005A	密度=3.16g/cm ³ 表乾密度=2.58g/cm ³ 表乾密度=2.68g/cm ³	試験条件	水セメント比：50% 細骨材率：47% 単位水量：165kg/m ³ 使用量：C×1.20%（チューポールSR） : C×0.80%（市販高性能AE減水剤）	目標スランプ=18cm 目標空気量=4.5% コンクリート温度=20℃
使用材料	セメント：普通ポルトランドセメント 細骨材：陸砂 粗骨材：碎石2005A	密度=3.16g/cm ³ 表乾密度=2.58g/cm ³ 表乾密度=2.68g/cm ³	試験条件	水セメント比：50% 細骨材率：47% 単位水量：165kg/m ³ 使用量：C×1.20%（チューポールSR） : C×0.80%（市販高性能AE減水剤）	目標スランプ=18cm 目標空気量=4.5% コンクリート温度=20℃				

